環境プランナー・ベーシック資格を創設

第1回試験は600人が受験

環境プランニング学会
代表理事
板生 清

1972年にローマクラブが公表した「成長の限界」は、大量生産、大量消費、大量廃棄社会の限界、つまりこのような地球規模に広がった環境問題は、地球に住むすべての人の参加を求めていることを予見しました。

今、環境問題への取り組みは、世界中の人達に強く求められています。

「環境と開発に関する世界委員会」（87年）が発行した「我ら共有の未来」では、持続可能性の概念を定義しましたが、一人ひとりが現在の環境問題を認識し、持続的に具体的な活動に結び付けていかなければなりません。

当学会では環境プランニングを遂行する人を、環境プランナーと呼んで、環境プランナー、環境プランナーER、環境プランナーEROと、いくつかのレベルに分けております。

環境プランナーになるには、「環境に対する幅広い知識」と「環境問題解決（ソリューション）に関する知識・技能」の2つの力量証明が必要です。

学会では過去6年の活動を通じて約800人の環境プランナーを社会に輩出してきました。現在、環境プランナーは全国各地でいろいろな活動に参加しています。例えば、企業組織において環境政策を担当したり、企業から頼まれ各地の市町村条例の調査、企業から個別に依頼されるコンサルタント活動、地域社会のパブリックピープル、推定6万人）の環境問題解決に参加するなどです。

東京商工会議所では、2006年からeco検定（環境社会検定試験）を開始しました。今年も7月に第6回eco検定試験が実施されましたが、全国で約2万5千人が受験するという大きな規模に成長しております。

第2回は来年3月に実施予定

学会では今年、環境プランナーの人間資格「環境プランナー・ベーシック資格」を新設し、主にeco検定合格者（エコ

第1回の試験問題と回答例の抜粋を紹介します。次回以降の試験に積極的に応募して頂きたいと思います。詳細はホームページ（アドレスは左記）を参照下さい。

（いたお・きよし）

第1回環境プランナー・ベーシック資格試験は9月19日に、東京、大阪、名古屋、札幌、仙台、金沢、福岡で実施され、約800人が資格試験に挑戦しました。その結果合格者は約65%でした。第2回目は来年3月20日に実施される予定です。

【ホームページアドレス】

http : //www.kankyo-planning.org/

http : //www.technofer.co.jp/training/consulting/indexplan.html